

展示

	① チェルノブイリ・スケッチ	② 風下の町	③ 原爆展	④ 減思力
60代 郡山市	街を捨てられずに戻ってきて人間らしい暮らしをしている美しい人々に感動しました。 美しいものを一瞬にして奪ってしまう原発。でも人の手で再生できる。また壊されないことを祈ります。	見れませんでした。	何度見てもひどいことだと思いません。これを教訓とできない、愚かで悲しい人間が多いです。	減思力という造語に興味を覚えました。つい忘れてしまいがちですが、そうではなく考え続けなければと思いました。
70代 本宮市	人間のたくましき哀しさを感じるすばらしい作品たちでした。	三春町のあの日なされた決断を初めて知りました。 あの日の事故で私は、国はその民を守ってくれないと感じていましたが、ここに人々を守った自治体があったことは慰めでした。	亡くなった方々の叫びが、今ここに響きますように。	よくまとめてくださって、ありがとうございます。
70代 本宮市	現地に行かれ直接接して描かれただけに、福島に住む者にとっては家族的な繋がりを感じさせられました。 生きている絵、絵を通して自分もその場に存在しているような・・・。	放射線に対する認識をもっと客観的に持てるように、日本各地で開催し続けてほしい。	旧、新の広島、長崎原爆資料館を訪ねたことがあります。今回要点を選んであり、すっきりと認識でき、記憶に残ると思います。	続けて多くの場所で、②と共にセットにしてくださいればよいと思います。
50代 福島市	営みや生業がそこにあることを実感しました。他人事にはしてはいけないと思います。	国、県との対応の違いや方策について、もう少し前面に出してもよかったですと思います。	アメリカ以外の実験についても取り上げられれば、さらに説得力が増すと思います。	副読本は資料の一つであるものの、現場にいる者としてとても使えるものではないと思っています。正しく知る、教えることから逃げても、隠しても、うのみにしても、考えない
	① チェルノブイリ・スケッチ	② 風下の町	③ 原爆展	④ 減思力

50代 南相馬市 原町区	原画を見たのはもちろん初めて。貴重な機会をありがとうございます。 (放射能を浴びせられたくらいで)変わったり変えられたりしない。地に足の着いた人たちの人間賛歌であり(自分から見るとですが)異国情緒でもあり。ただ、見終わった後では言いにくいことですが・・・こんな素敵な人たちが死の灰をかぶる必要はなかった。	風向きや天気というどうしようもないことが、いったん事故が起きれば生死にかかわる事態に。そんな発電方法はだれも望んでいないと思います。命を守るための決断をされた、町の皆さんの勇気は見習いたいです。	第5福竜丸や入市被ばくのパネルもありさすがです。が、本当かどうか定かではないですが、チェルノブイリ被害の方が、同様の同心円図を見て「ヒロシマ・ナガサキの人々は自分の被ばく量を知っているの?」と聞いたということを読んだ気がします。「フクシマ」の問題でも立ちふさがっている「推定」の壁が・・・。	「原子力」や「放射能・放射線」について初めて触れるであろう子どもたちや若い人たちに、あえて原子力の活用を是とし、危険性について考えさせない教材。 WHOさえもIAEAに従っている(原子力まわり)ので日本だけの問題ではないですが・・・。変わって、変えていきたいですね。
40代 長崎市	初めて貝原氏のスケッチを見ました。あたたかいまなざしがわかりました。	ヨウ素剤配布のプロセスはとても教訓になりました。		学術的に重要な知見が多くあると思います。
70代 神奈川県	表情、線、色使いがすばらしかったです。		原爆の写真は見ると悲しい。とても現実に起きたこととは思えません。二度と起きないことを願うばかりです。	
60代 福島市	きれいですね。	全体的にこのような取り組みを4日間もされているのはすばらしい。さすが三春町と思いました。	よく見てるので。	後藤先生のは是非冊子にしてください。

① チェルノブイリ・スケッチ	② 風下の町	③ 原爆展	④ 減思力
----------------	--------	-------	-------

20代 千葉県	見ることができて良かったです。住民のリアルな生活を偏見なしで描いてあり良かったです。絵もすてきでした。		見たことがある写真もあったが、改めて何度見ても心が痛いと思った。	
70代 郡山市	絵はよくわからないが、悲しさは伝わった。	三春町の対応は全国の自治体をハッとさせた。「考え」「行動力」に〇〇（不明）に」勇気が伺われます。	長崎市長のイスラエルを招待しなかったこと、勇気あることです。すべての原爆投下に反対して世界に発信しているが、アメリカ大使はイスラエルを招待しないことを理由に欠席は、大国主義を日本に押し付けており許せない。	
60代 千葉県	初めて見させていただきました。美しく描かれた風景なども大変詳細でしたが、色の付けられた人々の表情に強くたくましさも感じられました。文章とあいまって、人々の表情に憂う瞳もありました。		二度と起きてはならないこと。	
60代 川俣町			原爆のこと忘れがちです。何度も思い起こすしかないのかもしれない。	御用新聞の福島民友が「ALPS汚染水デマ」と書いております。原発事故の実害が続いているのに、風評被害、風評加害とのごまかし記事も目立ちます。騙されちゃいけないなあと思います。

① チェルノブイリ・スケッチ

② 風下の町

③ 原爆展

④ 減思力

50代 三春町			テレビなどでよく見る絵、写真がありました。知っているつもりでしたが、自分の目で見ると胸に深く突き刺さりました。	
60代 三春町	絵のタッチが繊細で特徴ある画風を感じた。		生々しく原爆による悲惨さを感じ取ることができた。	
70代 郡山市	(住民) 人々の普通の生活がいろんな方向から描かれていておもしろかったです。墨の黒が印象的でした。	三春のビデオ初めて見ました。(ヨウ素剤のこと)	記録として残っていることが驚きです。	いったい誰が指示するのでしょうか？ 権力者に都合がいいように・・・。
70代 三春町	本橋誠一さんの写真も見なかったです。			
70代 葛尾村	すばらしいスケッチでした。	記録映画 ヨウ素剤配布の素早い行動があったのだと思います。 町民を守った。 雨と風の情報。		
70代	風下の村で生きていく・・・人々は被曝より生き方を選んだのですね。絵はただ人々をありのままに描いており、本当に事故が起きた村なのかしら・・・と思える人々の暮らしでした。			

① チェルノブイリ・スケッチ	② 風下の町	③ 原爆展	④ 減思力
----------------	--------	-------	-------

50代 神奈川県		DVDの上映を観て、町の上層部の方々の考え、指示に感服しました。町民の命を守ってくださったことに感謝です。国、県からの指示待ちでは遅かったです。現場での状況判断が正しかったと指示します。		
南相馬市 小高区	原画と文は大変メッセージがあります。			以前から興味がありました。減思力は今頃の原子力を考えるうえで、とても大切なことだと思います。
70代 神奈川県	本橋さんのPhoto展で初めて見せていただいて、今度2度目です。	NHKのDVDは初めて観ました。町の方々の早い判断と行動力に目を見張りました。小さなと言っては失礼ですが、自治体の小回りの利くやり方が、私たちの望むところと、改めて思いました。誰が責任を取るのかというところに終始しがちですから。		
30代 南相馬市	現地の匂いや風の音が伝わってくるような素晴らしい絵でした。			
30代 会津若松市			戦争の恐さを非常に感じる。何度見ても心が締め付けられる。	
30代 尼崎市	放射能におびえながら生活していかなければならない恐怖。	時の権力者の誤った技術力の使い方で、多くの市民が苦しむことになる。	一瞬にして多くの命を奪った原爆の恐ろしさ、落とす決断をした人間の残虐さ。	原子力発電の良い点だけではなく、リスクも理解しておかねば、悲劇は繰り返されるかもしれない。
	① チェルノブイリ・スケッチ	② 風下の町	③ 原爆展	④ 減思力

40代 三春町	絵は外国で起きたことを身近に感じられる、良いツールだと思いました。	自分事として考えてほしいという言葉に、胸を打たれました。	全世界の人に観てほしいです。	2014年に改善された副読本が2018年にまた改悪されていてがっかりしました。でも、知ることができて良かったです。
70代 南相馬市	人の表情、暮らしぶりがよくわかり、放射能と共に生きる人々のたくましさを感じた。			
30代 三春町	勉強になりました。	知らないことだったので、自分の今を考えるきっかけになりました。	ただ、死が近い所という印象です。	勉強になりました。
10代 東京都			僕はYouTubeで、長崎の原爆のキノコ雲の奥にあるけむりは、祖父の故郷串木野の空襲によるけむりだと知った。とても身近に感じて、空襲というものに背筋が凍るようなものを感じた。その中で孤児の写真を見て、残された人の気持ちも考えてみようと思って、平和となった時、孤児は本当に幸せなのかと感じた。	

北海道 女性	北海道では見れなかったのですが、ふるさとの福島で見れてよかったです。女性達の、大地にふりまかれた男性支配の象徴ともいべき放射能。いろいろ考えました。	自分で考えることの大切さが、こんなにもないがしろにされている日本社会に、チェルノブイリのおばあたちの力強さが胸に染みしました。 チェルノブイリ、そして今のウクライナ、そして福島原発も愚かな政治家たちによって戦場になっているのだなど、それらのつながりを思いました。	何度も見た写真が多かったのですが、何度見ても胸がえぐられます。被爆により学べたことの大きさと、実際に学んだことのあまりの小ささに頭がくらくなりました。 本当に学んでいれば、原発事故はなかったはずですね。	後藤さんが丁寧に説明してくださったので、とてもよくわかりました。権力のとどまるところを知らぬ愚かしさに、それでも向き合い続ける皆さんの諦めなさに感謝です。
-----------	----------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------